

林業イノベーションハブ構築事業（拡充）

【令和6年度予算概算決定額 39,000（39,000）千円】

＜対策のポイント＞

先進技術の調査、林業事業者や異分野企業等が参画するプラットフォームの構築・運営、自動化・遠隔操作技術に関する安全性確保のルールづくり、地域へのコーディネーター派遣や取組成果の横展開等を実施します。

林業イノベーションハブセンター（森ハブ）

調査・方策検討機能

＜先進技術調査＞

- 異分野や海外を含む先進技術の開発状況調査、林業分野への導入・開発の実現性検討等

＜推進方策検討＞

- 有識者委員会において、イノベーションを推進するための森ハブの機能等について検討

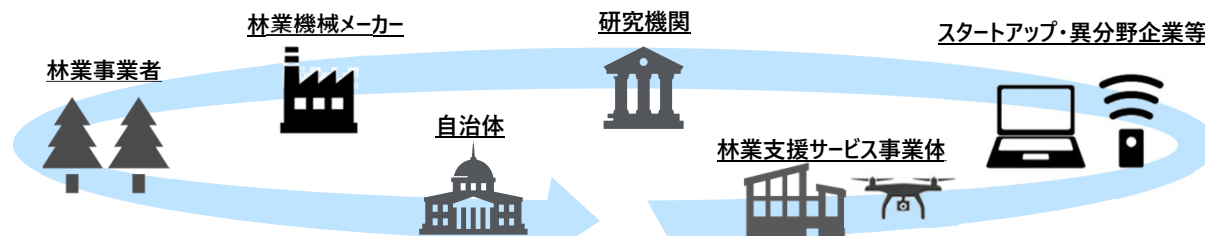
マッチング・プロジェクト支援機能

＜地域の取組・展開支援＞

- 地域の課題・ニーズに合致した取組を支援するために、コーディネーターを派遣
- 地域の取組状況を把握・評価、発信し、取組成果を横展開

＜プラットフォーム構築・運営＞

- 林業事業者や異分野企業等の参画を呼び込み、**情報交換・マッチングに向けた取組を実施（拡充）**
→ 林業イノベーションに関心の高い**組織・人材が集積し、交流が活性化**



- 新たな製品・サービス、それらの導入効果等の情報を交換
- 現場ニーズにマッチした**新技術**の探索を容易にし、**普及を加速**

- 林業現場の技術開発ニーズ、機械メーカー・異分野企業等の強み・技術を共有
- 現場ニーズに即し、異分野技術を取り入れた**開発・実証プロジェクトを組成**

- 関係者間の合意形成が必要な課題については、WGの立ち上げを支援
→ 林業イノベーションに必要な検討・協議を会員主導で実施



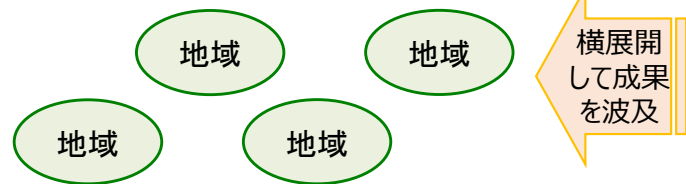
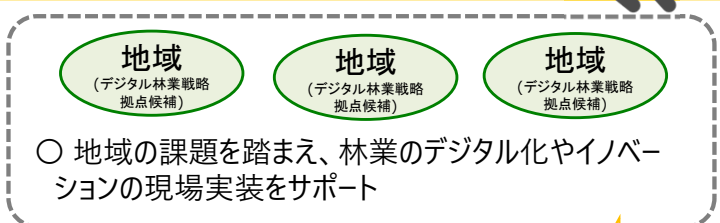
- 自動化・遠隔操作化技術の安全性については、**国が検討会を設置し、ルールづくりを実施（新規）**

（遠隔操作技術の例）

プロセッサによる造材 オペレータ 遠隔操作 集材機による集材

（成果のイメージ）

自動・遠隔操作林業機械の安全性確保ガイドライン



＜事業の流れ＞

